



共生舎 教室だより

2021年10月28日号
発行人 高橋 慎吾



当教室も実践しております。宜しく
お願い致します。

戦略的な学習を！！

中学生の皆さんは、11月10日に学力テストがあり、特に中3生は入試を占う総合Cテストとなります。中3生は感じ始めていると思うのですが試験の数をこなしていくうち、どの領域をどのように問われるのか、なんとなくでも見えてくるようになります。



皆さんも、「この問いはこう解け」「この問題は計算で終わり」という出題が少し減ってきたように思いませんか？記述問題が増えたと思いませんか？

学習指導要領が変わった—この教室だよりでも、何度もお知らせしていますが、一番の狙いは、自分の考えと他の人の考えとのバランスをとり、話を進めていくという力をつけることです。そのためには、知識はもちろん、全体を見通したうえで、話を組み立ていく力もつけていく必要があります。

「やらされている」「もう嫌だ」…試験が続くと確かにそう感じることもあるでしょう。でもいずれにせよ、やるしかないのです。せっかくの新課程ですから、自分の考えているもの、見えているものを、伝える手段を増やす「ゲーム」の感覚で、いっしょに戦略的に学びを進めていきましょう！

*小学生の部

現在、月曜2名～4名、水曜5名、金曜1～3名、土曜2名で受入中です。「よく遊びよく学ぶ」をテーマに、家庭学習の補助から難問への挑戦、遊びを通じた規範意識やコミュニケーション能力を養う場面も。



また、郷土やキャリアの学習についても要望があり、地域社会と自分との関わりについてを考える場面も作り始めています。

*中学生の部

現在、対面授業は最多で水曜7名、最少で火・木2名、また、オンラインも火・木1名(中3)受入中です。学習指導要領改定により、英語のレベルが一気に跳ね上がり、学年が上がるにつれそのギャップに苦戦を強いられている感じがしています。答案にも時間が無いなどの焦りの気持ちが見え隠れしますが、引き続きできることをひとつひとつ大切にして、積み重ねることを支援したいと考えています。

*高校生の部

現在、対面授業は木曜に1名、その他試験前等不定期出席で、オンラインは火・金1名(高1)受入中です。主に数学の基礎に関する指導ですが、時折英語や理科系の指導希望もあります。

中学までに学習した内容が、一気に広がっていく高校の学習。大学受験をするしないにかかわらず、学んだことが広がり、自分が机の上で見える世界もリアルに広がるのを感じられるでしょう。

*対面授業

- ・小学生 高学年2～3名
- ・中学生 1・2年 各4名
3年 若干名
- ・高校生 若干名
- ・開講日時はホームページの月間予定表を参照願います

*オンライン授業

【授業の進め方】

対面授業同様、複数名の生徒さんの質問対応や希望の解説を順番に行います。内容が学校のワークでも、教科書補足でも、できるだけ幅広く対応します。

オンライン参加者さんは、板書/ホワイトボードの画像が毎回授業終了後にお手元に届きます。また、授業時間外でも通常の塾生同様に、ちょっとした質問をLINEなどで適宜受付しております(授業料に含まれています)。

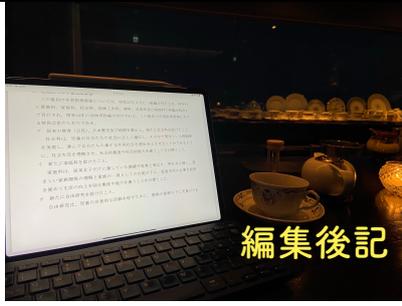
【募集要項】

- ・4回無料のモニター枠は「あと3名」！
- ・火、木20:45～22:00、金21:15～22:30
(希望が増えたら授業時間も土日等で増やします)
- ・1回 3,200円(対面授業の塾生は補講対応として2,500円)



考え方を变える「勇気」

私は、一つのことが気がかりになると、なかなかそこから離れられない傾向があります。それがあだとなり、テストを含めて色々なことがうまくいかず、高2の終わり、特に数学の成績はひどい事になっていました。



こだわると、そこから抜け出せない性格。苦手だった数学と向き合うと、他の科目の得点が下がってしまうのではないかな…

とは言っても、大学受験は待ってられないから、数学を本格的にやらなくては、理想とする進路に進めない。

私は、意を決して、数学と向き合うことにしました。最初の数ヶ月は、模擬試験で思ったより伸びず、さらに今まで一定の得点ができていた国語も下がり始め、焦っていました。しかし、数学の理解が進むにつれ、心に余裕が生まれ始め、数学の伸びとともに、国語も取り返し始めました。

そして、この経験は今、自分の性格を分析することにも役立っています。ひとつのことにこだわると、なかなか次に動けなくなる私ですが、60～70%の理解に達すると、他のこともできるようになると気づきました。

普段からやる事が多すぎて考えがまとまらない一方で、ひとつのことにこだわりやすい自分。考え方を変えなくては…と思うと気が重いものです。しかし、考え方の変更は、今までの自分の否定ではないのです。

今までの自分の積み重ねや性格も認めつつ、必要な場面で必要な考え方を取り入れること。私も日頃から意識していますが、皆さんと一緒にそうできれば、と考えながら授業をしています。